

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
321	独立行政法人酒類総合研究所
題名 (原題/訳)	
Longevity-associated NADH dehydrogenase subunit-2 237 Leu/Met polymorphism modulates the effects of daily alcohol drinking on yearly changes in serum total and LDL cholesterol in Japanese men. 日本人男性において、日常的なアルコール摂取が与える血漿の総コレステロールと LDL コレステロールの年次変化への影響を長寿に関連する NADH dehydrogenase subunit-2 の 237 Leu/Met 多型が調節する	
執筆者	
Makita R, Kokaze A, Ohtsu T, Ishikawa M, Matsunaga N, Karita K, Yoshida M, Tanaka N, Yamamoto M, Hayashi J, Takashima Y, Kitamoto K.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Acta Med Okayama. 2009 Dec;63(6):331-8.	
キーワード	
日本人男性、NADH dehydrogenase subunit-2、多型、コレステロール	
要旨	
<p>日本人では、NADH 脱水素酵素 subunit-2 237 Leu/Met (ND2-237 Leu/Met) 多型の減少が長寿に関係があると報告されている。ND2-237Met 遺伝子型は心筋梗塞や脳血管障害などのアテローム生成疾患耐性に影響を与える可能性がある。ND2-237 Leu/Met 遺伝子多型が血漿中の脂質濃度の年次変化と相関があるかどうかを調べるため、筆者らは 107 名の健康な日本人男性で縦断研究を行った。共分散分析により、ND2-237 Leu/Met 遺伝子型と習慣的な飲酒との間の相互作用が血漿中の総コレステロールと LDL コレステロールの年次変化と有意に相関があることが明らかになった (それぞれ <math>p=0.036</math>、<math>p=0.0006</math>)。重回帰分析では、ND2-237Met の男性で血漿の LDL コレステロール年次変化と有意な正の相関が見られた (<math>p=0.026</math>)。共変量で調整後、血漿の LDL コレステロール濃度の年次変化が ND2-237Leu の非飲酒者より、ND2-237Met の非飲酒者において有意に低いことがわかった (<math>p=0.047</math>)。以上の結果より、日常的な飲酒者ではなく、非日常的飲酒者において ND2-237Met が血漿の LDL コレステロール濃度の年次変化に有益な影響を与えることが示唆された。</p>	